



ゴミを減らすには、 まず自分の身の周りを知ることから

2017年度の活動

分散型排水処理施設（DEWATS）の建設

バグマティ川に流れ込む家庭排水を浄化するための分散型排水処理施設（DEWATS）1基を建設。建設と並行して、環境保全に向けた行動を起こすのは自分自身であることへの理解を促す研修や、施設の維持・管理に必要なコストやルールを決めていく研修を行いました。

ゴミ分別ための教材の作成

エコレンジャーの活動や学び、実践事例をふりかえり、事業終了後にも地域住民に広く配布できるよう、手軽にゴミの仕分け方を参照できるリーフレット（ネパール語10,000部、英語400部）と、じっくり読むブックレット（ネパール語8,400部、英語400部）の2種類の教材を制作しました。エコレンジャーたちのネットワークづくりや、さらなる研修の実施、ゴミ分別回収場所の設置に向けた準備などが進められています。

ゴミ箱から世界を見よう！ゴミ組成調査

6～8年生の生徒や担当教員を対象に、学校や家庭から出るゴミにはどんなものがあるか、ゴミの性質を明らかにするための授業として、学校の“ゴミ組成調査「ゴミ箱から世界を見よう」”を6校にて実施。授業の内容を考え、ファシリテートしたのは、ムラのミライと一緒に活動してきた地域の女性たちです。

2018年度の活動計画

アクション・プランの作成と実践サポート

学校や地域住民からの「地域でゴミを分別回収する場所をつくる」、「生ゴミを捨てずに堆肥にして、近くの農家たちと取引する」「ゴミの分別回収を業者に訴えかける」といったアイデアを実現可能で、継続できるものとするために、いつ、誰が、誰と、何をするのか、コストはいくらかかるのか…といった具体的なアクションに落とし込んでいくための作業をサポートします。

PROJECT DATA

環境教育と地域住民主体の環境保全活動を通じた地域コミュニティの強化

どこで ネパール連邦民主共和国カトマンズ郡ゴカルネショール市・カトマンズ市

だれと 上記市内の学校・地域住民 約1,303人

（外務省「日本NGO連携無償資金協力」、トヨタ自動車（株）「トヨタ環境活動助成プログラム」、（公財）リそなアジア・オセアニア財団「環境プロジェクト助成」）

なにを バグマティ川の浄化と環境教育で、地域のつながりを取り戻す活動。2017年度からは、これまでの5年間のムラのミライの活動に参加した地域住民や先生たちが、主体となって環境保全活動に挑戦する学校や家庭を増やすための普及活動を、現地NGOのSOMNEED Nepalとともに支援しています。対象地域の住民が、外部の支援がなくとも、自分たちで活動を継続・展開していくことを目標としています。